様式第39号（第26条関係）

指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）指定（変更）申請書

（病院又は診療所）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保険医療機関 | 名称 |  |
| 所在地 | 〒電話番号 |
| 開設者 | 住所 | 〒電話番号 |
| 氏名又は名称 |  |
| 生年月日 |  | 職名 |  |
| 標榜している診療科目 |  |
| 担当しようとする医療の種類 |  |
| 主として担当する医師又は歯科医師の経歴 | （別紙1） | 自立支援医療を行うために必要な体制及び設備の概要 | （別紙2） |
| 自立支援医療を行うための入院設備の定員 | 人 |
| 上記のとおり、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第59条第1項の規定により指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）として指定を受け、又は担当しようとする自立支援医療の種類を変更したいので申請します。また、同法第59条第3項で準用する同法第36条第3項各号（第1号から第3号まで及び第7号を除く。）のいずれにも該当しないことを誓約します。　　　　年　　月　　日開設者　　　　　　　　　　　　　　　住所　　　　　　　　　　　　　　　　氏名又は名称　　　　　　　　　　　　（あて先）岐阜市長 |

※　育成医療又は更生医療のいずれか単独での指定を希望する場合は、様式中の「（育成医療・更生医療）」のうち、指定を希望しない部分を二重線で消去すること。

（記入要領）

1　「保険医療機関」の名称は、正式名称を記載すること。

2　「担当しようとする医療の種類」は、次のうち希望するものを記載すること。

|  |  |
| --- | --- |
| (1)　眼科に関する医療(2)　耳鼻咽喉科に関する医療(3)　口腔に関する医療(4)　整形外科に関する医療(5)　形成外科に関する医療(6)　中枢神経に関する医療(7)　脳神経外科に関する医療(8)　心臓脈管外科に関する医療 | (9)　心臓移植に関する医療(10)　腎臓に関する医療(11)　腎移植に関する医療(12)　小腸に関する医療(13)　肝臓移植に関する医療(14)　歯科矯正に関する医療(15)　免疫に関する医療 |

3　「主として担当する医師又は歯科医師の経歴」は、医療の種類ごとに記載すること。

4　「自立支援医療を行うための入院設備の定員」は、医療の種類ごとに記載すること。

5　（別紙1）経歴書の「学位」は、専門科目に関する学位の有無を記載すること。

6　（別紙1）経歴書の「関係学会加入状況」は、加入している学会名及び学会における必要な記録を記載すること。

7　（別紙1）経歴書の「任免事項」は、次の点に留意し、記載すること。

(1)　医師免許取得時期を明記し、医師免許証の写しを添付すること。

(2)　病院研究機関等医師又は歯科医師が勤務し、又は研究等のために利用した施設については、関係した専門科目名まで必ず記載すること（○○医科大学眼科学教室又は○○病院眼科のように記載し、○○医科大学又は○○病院のように省略しないこと。）。

(3)　勤務先における身分（医長、医員、講師、助手等）を明確に記載すること。

(4)　非常勤職員については、1か月又は1週間当たりの勤務の日数及び延時間数を明確に記載すること。

(5)　2以上の施設に兼務する等の場合は、それぞれの施設における勤務条件、利用状況等を具体的に記入すること（○○医科大学整形外科週4日（延○時間勤務）、○○病院週2日（延○時間勤務）等）。

(6)　大学院については、専門コースを明確に記載すること（○○医科大学大学院医学研究科整形外科学教室等）。

8　（別紙1）経歴書には、指導者氏名、研究テーマ、研究の内容別（講義の受講、臨床的研究、理論的研究、実習等）期間、従事日数（1か月又は1週間当たり）その他研究態様を明らかにするための主任教授等による証明書（別紙3）を添付すること。

9　腎臓に関する医療及び小腸に関する医療を担当しようとするときは、それぞれ（別紙4）及び（別紙5）による臨床実績等に関する証明書を（別紙1）経歴書に添付すること。

10　（別紙2）自立支援医療を行うために必要な体制及び設備の概要には、それぞれの医療で特に必要とされるものを主に記載すること。

11　心臓移植に関する医療のうち心臓移植術後の抗免疫療法を担当しようとするときは、（別紙6）又は（別紙7）による臨床実績等に関する証明書を（別紙1）経歴書に添付すること。

12　肝臓移植に関する医療のうち肝臓移植術後の抗免疫療法を担当しようとするときは、（別紙8）又は（別紙9）による臨床実績等に関する証明書を（別紙1）経歴書に添付すること。

（別紙1）

経歴書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学位 |  | フリガナ氏名 |  | 生年月日 |  |
| 現住所 |  |
| 関係学会加入状況 |  |
| 年月日 | 任免事項 | 師事した指導者の氏名、学位論文名又は学会に提出した論文名 |
|  |  |  |

（別紙2）

自立支援医療を行うために必要な体制及び設備の概要

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 品目 | 数量 | 品目 | 数量 |
| 設備（主要なもの） |  |  |  |  |
| 体制 |  |

（別紙3）

研究内容に関する証明書

医療機関名

氏名

1　研究テーマ

2　研究の内容別期間等

(1)　教室における臨床実習

自　　　　　年　　月　　日

月間（1週　　日　　時　　　間）

至　　　　　年　　月　　日

(2)　教授指導下での教室外における臨床実習

自　　　　　年　　月　　日

月間（1週　　日　　時　　　間）

至　　　　　年　　月　　日

3　その他研究内容を明らかにするために必要な事項

主論文

副論文

上記のとおり相違ないことを証明する。

　　　　年　　月　　日

大学名

氏名

（別紙4）

人工透析に関する専門研修・臨床実績証明書

医療機関名

氏名

1　専門研修

(1)　研修期間

自　　　　　年　　月　　日

至　　　　　年　　月　　日

(2)　医療機関及び指導医

2　臨床実績

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 期間 | 患者数 | 回数 | 医療機関名等 |
| 年　月～　　年　月 | 人 | 回 |  |
| 年　月～　　年　月 | 人 | 回 |  |
| 年　月～　　年　月 | 人 | 回 |  |
| 年　月～　　年　月 | 人 | 回 |  |
| 年　月～　　年　月 | 人 | 回 |  |

3　透析療法従事職員研修受講の有無

(1)　有（　　　　年度研修）

(2)　無

上記のとおり相違ないことを証明する。

　　　　年　　月　　日

医療機関名

氏名

（別紙5）

中心静脈栄養法等に関する臨床実績証明書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 医療機関名 |  | 主たる担当医師名 |  |
| 医 療 機 関 名 | 期間 | 症例数 | 備考 |
|  | 年月日　　　年月日～～～ | 中心静脈栄養法（　　　　）（　　　　）（　　　　） |  |
|  | 年月日　　　年月日～～～ | 経腸栄養法 |  |

上記のとおり相違ないことを証明する。

　　　　年　　月　　日

医療機関名

氏名

（記載要領）

1　医療機関名は、正式名称を記載すること。

2　「主たる担当医師名」欄には、小腸に関する医療を主として担当する医師の氏名を記載すること。

3　「症例数」欄には、個々の症例を直近時から遡って記載し、調査票の記入欄を満たす範囲内で症例数を計上すれば足りる。ただし、既定の症例数（中心静脈栄養法にあっては20例以上、経腸栄養法にあっては10例以上）について、患者性別、年齢、期間等の一覧を別途添付すること。

4　中心静脈栄養法の症例数のうち在宅中心静脈栄養法については、次の点に留意し、括弧内に再掲すること。

(1)　同一症例に対し断続的に繰り返し行ったときは、その都度、症例と数えて差し支えない。

(2)　中心静脈栄養法を開始した時点からその中心静脈栄養法の終了した時点までが10日間以上のものを症例として計上すること。なお、カテーテル感染によりカテーテルを抜去し、同一日又は翌日に再挿入した場合は、1回の症例とみなし、複数の症例として計上しないこと。

（別紙6）

心臓移植術後の抗免疫療法に関する臨床実績証明書（主たる医師）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 医療機関名 |  | 主たる担当医師名 |  |
| 期間 | 症 例 数 | 実施医療機関名等 | 備考 |
| 　　年　月～　　年　月　　年　月～　　年　月 |  | 心臓移植術病院ＨＰ |  |
| 　　年　月～　　年　月　　年　月～　　年　月　　年　月～　　年　月 |  | 心臓移植後の抗免疫療法病院病院ＨＰ |  |

上記のとおり相違ないことを証明する。

　　　　年　　月　　日

医療機関名

氏名

（記載要領）

1　医療機関名は、正式名称を記載すること。

2　「主たる担当医師名」欄には、心臓移植術後の抗免疫療法に関する医療を主として担当する医師の氏名を記載すること。

3　「期間」欄及び「症例数」欄には、「主たる担当医師名」欄に記載した医師がこれまでに心臓移植術後の抗免疫療法を実施した実績を直近時から遡って記載すること。

また、移植関係学会合同委員会において、心臓移植実施施設として選定された施設で心臓移植術及び心臓移植術後の抗免疫療法に関する臨床研修等の経験がある場合は、記載しても差し支えない。

4　「実施医療機関名等」欄には、これまでに心臓移植術後の抗免疫療法を実施した医療機関名等を記載すること。なお、実施した医療機関については、国内に限定するものではないが、国外の医療機関を記載する際は、「備考」欄に国名についても記載すること。

5　心臓移植術の経験がある場合は、心臓移植術についても記載すること。

（別紙7）

心臓移植術後の抗免疫療法に関する臨床実績証明書（連携機関の医師）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属する医療機関 |  | 連携する医師名 |  |
| 期間 | 症 例 数 | 実施医療機関名等 | 備考 |
| 　　年　月～　　年　月　　年　月～　　年　月 |  | 心臓移植術病院ＨＰ |  |
| 　　年　月～　　年　月　　年　月～　　年　月 |  | 心臓移植術後の抗免疫療法病院ＨＰ |  |
| 連携する医師の経歴書 | 生年月日 |  | 学位 |  |
| 年月日 | 任免事項 | 師事した指導者名、学位論文名又は学会論文名 |
|  |  |  |

上記のとおり相違ないことを証明する。

　　　　年　　月　　日

医療機関名

氏名

（記載要領）

1　医療機関名は、正式名称を記載すること。

2　「連携する医師名」欄には、心臓移植術後の抗免疫療法に関する医療について連携する医師の氏名を記載すること。

3　「期間」欄、「症例数」欄及び「実施医療機関名等」欄には、「連携する医師名」欄に記載した医師がこれまでに心臓移植術又は心臓移植術後の抗免疫療法を実施した実績を直近時から遡って記載すること。なお、実施した医療機関については、国内に限定するものではないが、国外の医療機関を記載する際は、「備考」欄に国名についても記載すること。

（別紙8）

肝臓移植術後の抗免疫療法に関する臨床実績証明書（主たる医師）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 医療機関名 |  | 主たる担当医師名 |  |
| 期間 | 症 例 数 | 実施医療機関名等 | 備考 |
| 　　年　月～　　年　月　　年　月～　　年　月 |  | 肝臓移植術病院ＨＰ |  |
| 　　年　月～　　年　月　　年　月～　　年　月　　年　月～　　年　月 |  | 肝臓移植後の抗免疫療法病院病院ＨＰ |  |

上記のとおり相違ないことを証明する。

　　　　年　　月　　日

医療機関名

氏名

（記載要領）

1　医療機関名は、正式名称を記載すること。

2　「主たる担当医師名」欄には、肝臓移植術後の抗免疫療法に関する医療を主として担当する医師の氏名を記載すること。

3　「期間」欄及び「症例数」欄には、「主たる担当医師名」欄に記載した医師がこれまでに肝臓移植術後の抗免疫療法を実施した実績を直近時から遡って記載すること。

また、移植関係学会合同委員会において、肝臓移植実施施設として選定された施設で肝臓移植術及び肝臓移植術後の抗免疫療法に関する臨床研修等の経験がある場合は、記載しても差し支えない。

4　「実施医療機関名等」欄には、これまでに肝臓移植術後の抗免疫療法を実施した医療機関名等を記載すること。なお、実施した医療機関については、国内に限定するものではないが、国外の医療機関を記載する際は、「備考」欄に国名についても記載すること。

5　肝臓移植術の経験がある場合は、肝臓移植術についても記載すること。

（別紙9）

肝臓移植術後の抗免疫療法に関する臨床実績証明書（連携機関の医師）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属する医療機関 |  | 連携する医師名 |  |
| 期間 | 症 例 数 | 実施医療機関名等 | 備考 |
| 　　年　月～　　年　月　　年　月～　　年　月 |  | 肝臓移植術病院ＨＰ |  |
| 　　年　月～　　年　月　　年　月～　　年　月 |  | 肝臓移植術後の抗免疫療法病院ＨＰ |  |
| 連携する医師の経歴書 | 生年月日 |  | 学位 |  |
| 年月日 | 任免事項 | 師事した指導者名、学位論文名又は学会論文名 |
|  |  |  |

上記のとおり相違ないことを証明する。

　　　　年　　月　　日

医療機関名

氏名

（記載要領）

1　医療機関名は、正式名称を記載すること。

2　「連携する医師名」欄には、肝臓移植術後の抗免疫療法に関する医療について連携する医師の氏名を記載すること。

3　「期間」欄、「症例数」欄及び「実施医療機関名等」欄には、「連携する医師」欄に記載した医師がこれまでに肝臓移植術又は肝臓移植術後の抗免疫療法を実施した実績を直近時から遡って記載すること。なお、実施した医療機関については、国内に限定するものではないが、国外の医療機関を記載する際は、「備考」欄に国名についても記載すること。